

高等学校等就学支援金受給資格認定申請に係る留意事項

- ① 認定申請は当該高等学校等に在学中に限り可能（事務処理要領【第6版】31 ページQ6-1）であるため、申請日及び学校受付日が入学日より前の日付になっていないか確認のこと。
- ② 転入生や、新規に受給資格を得た在學生で、1年生ではない者については、備考欄にその旨記載すること。
- ③ 一覧表との突合を容易にするため、申請書の余白に通し番号を付すこと。
（2019年度の登録については、19-〇〇〇〇（就学支援金番号の下4ケタ））
- ④ ホチキス留めはしないこと。
- ⑤ 鉛筆や消せるボールペンは使用しないこと。また、黒又は青以外の色ペンも使用しないこと。
- ⑥ 保護者の氏名は、マイナンバーカード写し等どおりに、丁寧に記入すること。
（家庭状況の変化等が生じた場合はその限りではない。）
- ⑦ 学校受付日を漏れなく記入すること。

○課税証明書等の提出を行う場合

- ① 「給与所得等に係る市町村民税・県民税特別徴収税額の決定通知書」（横長の紙）はA4用紙に貼って提出のこと。
- ② 課税証明書等のコピーを添付する際は、証明者印や年度等が確実に印刷されているか確認すること。
- ③ 保護者の氏名は、課税証明書どおりに、丁寧に記入すること。（家庭状況の変化等が生じた場合はその限りではない。）
- ⑩ 親権者等が存在しない場合（施設に入所している等）で、本人が成人に達しておらず、所得も得ていない場合は、本人の課税証明書の提出は不要であること。（申請書【2. 保護者等の収入の状況について】は（2）-2⑥へのチェックとなること。）
- ⑪ 一方の親が控除対象配偶者で、課税証明書の添付を省略しようとする場合は事務処理要領 32 ページのQ6-9の要件に該当するか十分確認のこと。